

「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」解説講習会

近年多発する風水害に対して、防災はもとより発災後の復旧処置の迅速な対応が求められています。

この度、日本建築士会連合会の災害対策委員会では、建築士を含めた建築技術者が被災住宅等の復旧に取り組む際に、被災地の復旧対策の見解や貴重な体験データを集めた実用的指針として「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」を策定しました。いつ来るかもしれぬ災害に対処するため、この「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」の早い普及が急務であると考えております。そこで「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」の解説講習会を開催します。ご興味のある方はぜひご参加ください。

日 時：2025年2月27日（木）14：00～16：15（受付13：30～）

会 場：石川県建設総合センター 5階 第1研修室（金沢市弥生2丁目1番23号）

受講料：無料 募集定員：30名（定員になり次第終了とします。）CPD：2単位（予定）

テキスト代：1,000円（税込）※当日、受付にてテキストと引き換えにお支払いください。

【使用テキスト 日本建築士会連合会発行『浸水被害住宅の技術対策マニュアル』】

時間割	講習内容	講師等
14：00～ 15：00 (60分)	第1章 はじめに 1. マニュアルの考え方と利用方法 2. 応急措置での基本的な注意点 第2章 被災住宅の応急措置と応急復旧工事 1. 水害後の復旧までの流れと注意点 2. 水害後の復旧までの作業の詳細 3. 復旧のあたっでの注意点と推奨する施工方法 4. 応急修理から本格的な復旧に向けて	石井 隆司 〈愛知建築士会副会長〉 【連合会災害対策委員】
休憩 15分		
15：15～ 16：15 (60分) * 質疑含む	第3章 被災住宅の相談窓口業務 1. 相談内容の経過と分類 2. 台風豪雨災害における相談活動の状況 3. 相談員の心得 4. 相談事例集 5. 相談票の書式例と参考資料 第4章 被災住宅の応急復旧体制の提案 1. 応急復旧体制の概要 2. 応急復旧協力会の役割 3. 応急復旧活動のフローと内容 4. 応急復旧協力会の参考資料 5. 応急復旧工事の概算費用 6. 復旧工事概算費用算出シート 質疑応答	石井 隆司 〈愛知建築士会副会長〉 【連合会災害対策委員】

■主催：一般社団法人石川県建築士会 共催：公益社団法人日本建築士会連合会

「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」解説講習会 参加申込書		受付番号
(フリガナ)		(事務局記入欄)
氏名		
住所		
電話番号		
受講票の送付先	【メールアドレスまたはFAX番号】	
勤務先		CPD番号
所属支部	<input type="checkbox"/> 会員 () 支部 <input type="checkbox"/> 賛助会員 () 支部 <input type="checkbox"/> 非会員	

申込・ (一社) 石川県建築士会 ☎ : ishikawashikai1@max.odn.ne.jp

問合せ先 TEL 076-244-2241 FAX 076-243-4821